

注3

大学番号：85

[平成30年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

共同設置

北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科融合科学共同専攻
(修士課程)

金沢大学大学院 新学術創成研究科融合科学共同専攻(修士課程)

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

北陸先端科学技術大学院大学：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

金沢大学大学院：国立大学法人金沢大学

平成30年5月1日現在

北陸先端科学技術大学院大学：作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 法規係長 伊藤 紀子

電話番号 0761-51-1017

(夜間) 0761-51-1111

FAX 0761-51-1088

e-mail houki@jaist.ac.jp

金沢大学：作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 政策調整係 ミシマ タクヤ
三島 卓也

電話番号 076-264-5114

(夜間) 076-264-5114

FAX 076-234-4010

e-mail seisaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学：北陸先端科学技術大学院大学
国立大学法人金沢大学：金沢大学大学院

(2) 大学の位置

(北陸先端科学技術大学院大学)
〒923-1292
石川県能美市旭台一丁目1番地
(金沢大学)
〒920-1192
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
北陸先端 科学技術 大学院大 学	学 長	(アサノ テツオ) 浅野 哲夫 (平成26年4月)		
	研究科長	(テラノ ミノル) 寺野 稔 (平成28年4月)		
金沢大学	学 長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
	研究科長	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は，平成27年度開設の4年制の学科の場合（平成30年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

大学名	調査対象研究科等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻 修士（融合科学）	理学関係 工学関係	2年	10人	— 年次人	20人	
金沢大学	大学院新学術創成研究科 融合科学共同専攻 修士（融合科学）	理学関係 工学関係	2年	14人	— 年次人	28人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には，「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	対象年度 区 分	平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
北陸先端科学技術大学院大学	A 入学定員	人 10 (-) [-]	人 () () []	人 () () []	人 () () []	0.80倍	
	志願者数	19 (-) () [11] []	() () [] []	() () [] []			
	受験者数	18 (-) () [11] []	() () [] []	() () [] []			
	合格者数	8 (-) () [2] []	() () [] []	() () [] []			
	B 入学者数	8 (-) () [2] []	() () [] []	() () [] []			
	入学定員超過率 B/A	0.80					
金沢大学	A 入学定員	人 14 (-) [-]	人 () () []	人 () () []	人 () () []	0.92倍	「社会人」を「社会人特別選抜入試」により入学した者と定義。
	志願者数	14 (-) () [3] []	() () [] []	() () [] []			
	受験者数	14 (-) () [3] []	() () [] []	() () [] []			
	合格者数	14 (-) () [3] []	() () [] []	() () [] []			
	B 入学者数	13 (-) () [2] []	() () [] []	() () [] []			
	入学定員超過率 B/A	0.92					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
北陸先端科学技術大学院大学	1 年次	8 [2] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	
	2 年次			[] ()	[] ()	
	3 年次					
	4 年次					
	計	8 [2] (-)		[] ()		
金沢大学	1 年次	13 [2] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	
	2 年次			[] ()	[] ()	
	3 年次					
	4 年次					
	計	13 [2] (-)		[] ()		

(注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区 分	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
	対象年度			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
北陸先端科学技術大学院大学	平成30年度	8 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
	平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
				平成31年度	人	人	
	合 計	8 人	0 人				
金沢大学	平成30年度	13 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
	平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
				平成31年度	人	人	
	合 計	13 人	0 人				

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<北陸先端科学技術大学院大学>

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a)

平成30年度の在学者数(b)

=

0

=

0

%

【平成31年度】

平成31年度の退学者数(a)

平成31年度の在学者数(b)

=

0

=

#DIV/0!

%

<金沢大学>

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a)

平成30年度の在学者数(b)

=

0

=

0

%

【平成31年度】

平成31年度の退学者数(a)

平成31年度の在学者数(b)

=

0

=

#DIV/0!

%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜先端科学技術研究科融合科学共同専攻（修士課程）＞

＜新学術創成研究科融合科学共同専攻（修士課程）＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記 年 次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必 修	選 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 幹 教 育 科 目	起業家への道	1①	金沢大学	1			1					1
	起業家の中核技術と戦略	1②	金沢大学	1			1					2
	研究者倫理	1①	金沢大学	1								1
	人間カイノベーション論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	1								1
	創出カイノベーション論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	1								1
	実践的データ分析・統計概論	1①～②	金沢大学	2			6					
異 分 野 「 超 」 体 験 学 科 目	データ分析のための情報統計学	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	異分野「超」体験セッションⅠ	1①～②	共同開講	2								
	異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢）	1③	金沢大学	1			14	5				10
	異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）	1④	金沢大学	1			14	5				10
	異分野「超」体験実践Ⅰa（JAIST）	1③	北陸先端科学技術大学院大学	1			7					10
	異分野「超」体験実践Ⅰb（JAIST）	1④	北陸先端科学技術大学院大学	1			7					10
産 社 科 会 目 録	インターンシップ（金沢）	1②	金沢大学	2			14	5				
	インターンシップ（JAIST）	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2			7					
専 門 科 目	分散並列リアルタイムシステム構成論	1③～④	金沢大学	2								1
	データマイニング論	1①～②	金沢大学	2								1
	生命情報と先端バイオ	1①～②	金沢大学	2								1
	映像情報処理学	1③～④	金沢大学	2								1
	衛星測位工学	1①～②	金沢大学	2								1
	アレイ信号処理特論	1③～④	金沢大学	2								1
	通信工学特論	1①～②	金沢大学	2								1
	実験哲学概論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	認知科学概論	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	データ分析学基礎	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	データ分析学	2③	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	デザイン創造過程論	2①	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	アルゴリズムとデータ構造	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	プログラミング基礎	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	情報代数	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	数理論理学	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	情報解析学特論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					1
	形式言語とオートマトン	1②・④	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	計算論	1②・④	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	画像情報処理特論	2④	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	ダイナミクスのモデリング	2②	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
生 命 科 学 系 科 目	がんの生命科学Ⅰ	1①～②	金沢大学	2			2					2
	がんの生命科学Ⅱ	1③～④	金沢大学	2			2					3
	生体分子ダイナミクス	1③～④	金沢大学	2				1				2
	生体・分子物理学	1①～②	金沢大学	2				1				3
	日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア	1③～④	金沢大学	2			1					2
	創薬分子プローブ概論	1①～②	金沢大学	2			1					8
	ヒューマンボディー：構造	1①～②	金沢大学	2								8
	ヒューマンボディー：機能	1①～②	金沢大学	2			1					7
	ヒューマンボディー：疾患	1①～②	金沢大学	2								6
	生物機能概論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	生物有機化学特論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	生物物理化学特論	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	生体分子機能特論	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	生体材料分析特論	1③	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	医用生体材料特論	2②	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					
材 料 科 学 系 科 目	光波工学	1①～②	金沢大学	2			1					1
	知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2								1
	バイオメカニクス工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2			1					
	エネルギー・環境プログラム序論	1①	金沢大学	1			1					9
	マテリアルプログラム序論	1②	金沢大学	1								10
	太陽電池工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2			1					2
	物性物理化学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2			1					1
	高分子材料合成化学	1①～②	金沢大学	2								3
	機能性高分子材料化学	1①～②	金沢大学	2								2
	バイオリファイナリー工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2				1				
	表面・界面工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2								1
	デバイスプロセス工学	1③～④	金沢大学	2								1
	固体物性評価基礎論	1①～②	金沢大学	2								2
	材料物理概論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					2
	材料化学概論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	量子力学特論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	2								2
	統計力学特論	1③	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					
	応用電磁気学特論	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	有機分子化学特論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	物質計算科学特論	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								3
	有機材料物性特論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					1
	無機材料化学特論	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	機器分析化学特論	1③	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	固体物理学特論Ⅰ	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	応用物性数学特論	1①・③	北陸先端科学技術大学院大学	2			1					1
	触媒化学特論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	高分子化学特論Ⅰ	1②	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	デバイス物理特論	1④	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
	固体物理学特論Ⅱ	2③	北陸先端科学技術大学院大学	2								1
社 会 シ ス テ ム 科 学 系 科 目	考古学と自然科学	1③～④	金沢大学	2			1					
	認知行動融合科学基礎論	1③～④	金沢大学	2			1					
	文明学特論	1①～②	金沢大学	2								1
	臨床神経心理学Ⅰ	1③～④	金沢大学	2			1					
	文化資源学概論	1①～②	金沢大学	2								13
	社会科学方法論	1①	北陸先端科学技術大学院大学	2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹教育科目	起業家への道	1①	金沢大学	1				0				1	
	起業家の中核技術と戦略	1②	金沢大学	1				0				2	
	研究者倫理	1①	金沢大学	1				1				1	
	人間力カイノベーション論	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	1								1	
	創出力カイノベーション論	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	1								1	
	実践的データ分析・統計概論	1①～②	金沢大学	2			4	2					
異分野「超」体験科目	データ分析のための情報統計学	1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	異分野「超」体験セッションⅠ	1①	共同開講	2			21	5					
	異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢）	1③	金沢大学	1			14	5				10	
	異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）	1④	金沢大学	1			14	5				10	
	異分野「超」体験実践Ⅰa（JAIST）	1③	北陸先端科学技術 専門学校大学	1			7					0	
産社科会目録	インターンシップ（金沢）	1②	金沢大学	2			14	5					
	インターンシップ（JAIST）	1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			7						
専門科目	分散並列リアルタイムシステム構成論	1③～④	金沢大学	2								1	
	データマイニング論	1①～②	金沢大学	2								1	
	生命情報と先端バイオ	1①～②	金沢大学	2								1	
	映像情報処理学	1③～④	金沢大学	2								1	
	衛星測位工学	1①～②	金沢大学	2								1	
	アレイ信号処理特論	1③～④	金沢大学	2								1	
	通信工学特論	1①～②	金沢大学	2								1	
	実験哲学概論	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	認知科学概論	1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	データ分析学基礎	1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								3	
	データ分析学	2③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	デザイン創造過程論	2①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	アルゴリズムとデータ構造	1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	プログラミング基礎	1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	情報代数	1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	数理論理学	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								3	
	情報解析学特論	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			1					1	
	形式言語とオートマトン	1②・④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	計算論	1②・④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	画像情報処理特論	2④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	ダイナミクスのモデリング	2②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
生命科学系科目	がんの生命科学Ⅰ	1①～②	金沢大学	2			2					2	
	がんの生命科学Ⅱ	1③～④	金沢大学	2			2					3	
	生体分子ダイナミクス	1③～④	金沢大学	2				1				2	
	生体・分子物理学	1①～②	金沢大学	2				1				3	
	日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア	1③～④	金沢大学	2			1					2	
	創薬分子プローブ概論	1①～②	金沢大学	2				1				8	
	ヒューマンボディー：構造	1①～②	金沢大学	2								8	
	ヒューマンボディー：機能	1①～②	金沢大学	2			1					7	
	ヒューマンボディー：疾患	1①～②	金沢大学	2								7	
	生物機能概論	1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	生物有機化学特論	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	生物物理化学特論	1①・③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
	生体分子機能特論	1③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	生体材料分析特論	1④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
	医用生体材料特論	2②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			1						
	材料科学系科目	光波工学	1③～④	金沢大学	2			1					1
		知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2				1				
		バイオメカニクス工学特論Ⅰ	1③～④	金沢大学	2			1					
		エネルギー・環境プログラム序論	1①	金沢大学	1			1					9
マテリアルプログラム序論		1②	金沢大学	1								9	
太陽電池工学特論Ⅰ		1③～④	金沢大学	2			1						
物性物理化学特論Ⅰ		1③～④	金沢大学	2			1						
高分子材料合成化学		1①～②	金沢大学	2								3	
機能性高分子材料化学		1①～②	金沢大学	2								2	
バイオリファイナリー工学特論Ⅰ		1③～④	金沢大学	2			1						
表面・界面工学特論Ⅰ		1③～④	金沢大学	2								1	
デバイスプロセス工学		1③～④	金沢大学	2								1	
固体物性評価基礎論		1①～②	金沢大学	2			1					2	
材料物理概論		1③～④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
材料化学概論		1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								2	
量子力学特論		1③～④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			1					2	
統計力学特論		1③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
応用電磁気学特論		1④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1	
有機分子化学特論		1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			1					0	
物質計算科学特論		1③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								3	
有機材料物性特論		1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			1						
無機材料化学特論		1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2									
機器分析化学特論		1③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2									
固体物理学特論Ⅰ	1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2										
応用物性数学特論	1③	北陸先端科学技術 専門学校大学	2			1							
触媒化学特論	1①	北陸先端科学技術 専門学校大学	2										
高分子化学特論Ⅰ	1②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1		
デバイス物理特論	1④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1		
固体物理学特論Ⅱ	2②	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								1		
社会科学系	考古学と自然科学	1③～④	金沢大学	2			1						
	認知行動融合科学基礎論	1③～④	金沢大学	2			1						
	文明学特論	1①～②	金沢大学	2								1	
	臨床神経心理学Ⅰ	1③～④	金沢大学	2			1						
	文化資源学概論	1①～②	金沢大学	2									
社会科学系	社会科学方法論	1④	北陸先端科学技術 専門学校大学	2								13	

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	1						
	2	該当なし					
	3						

- (注) ・ 授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	1						
	2	該当なし					
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{110} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(北陸先端科学技術大学院大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	81,033㎡	0㎡	0㎡	81,033㎡				
	運動場用地	3,727㎡	0㎡	0㎡	3,727㎡				
	小 計	84,760㎡	0㎡	0㎡	84,760㎡				
	そ の 他	32,303㎡	0㎡	0㎡	32,303㎡				
	合 計	117,063㎡	0㎡	0㎡	117,063㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		117,063㎡ (117,063㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	117,063㎡ (117,063㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		15室	194室	261室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		先端科学技術研究科 融合科学共同専攻			7 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 購入・廃棄等のため (30)	
	先端科学技術研究科 融合科学共同専攻	151,883 [72,327] 148,984 [71,316] (151,883 [72,327]) (148,984 [71,316])	1,163 [683] 1,299 [764] (1,163 [683]) (1,299 [764])	6,580 [6,576] 6,694 [6,690] (6,580 [6,576]) (6,694 [6,690])	28 (28)	2,544 3,802 (2,544) (3,802)	2 (2)		
	計	151,883 [72,327] 148,984 [71,316] (151,883 [72,327]) (148,984 [71,316])	1,163 [683] 1,299 [764] (1,163 [683]) (1,299 [764])	6,580 [6,576] 6,694 [6,690] (6,580 [6,576]) (6,694 [6,690])	28 (28)	2,544 3,802 (2,544) (3,802)	2 (2)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		3,076㎡		162		178,947冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		0㎡		テニスコート 2面 (1,486 ㎡)		グ ラ ウ ン ド (2,241 ㎡)			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

(金沢大学)

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地等整理のため (30)			
	校 舎 敷 地	731,780㎡ 739,888㎡	0㎡	0㎡	731,780㎡ 739,888㎡				
	運動場用地	103,704㎡	0㎡	0㎡	103,704㎡				
	小 計	835,484㎡ 843,592㎡	0㎡	0㎡	835,484㎡ 843,592㎡				
	そ の 他	1,805,514㎡ 1,723,183㎡	0㎡	0㎡	1,805,514㎡ 1,723,183㎡				
	合 計	2,640,998㎡ 2,566,775㎡	0㎡	0㎡	2,640,998㎡ 2,566,775㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 改修等のため (30)			
		283,269㎡ 283,184㎡ (283,269㎡) -(283,184㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	283,269㎡ 283,184㎡ (283,269㎡) -(283,184㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室等用途変更・整 理のため (30)		
		133室 149室	194室 243室	910室 818室	8室 10室 (補助職員 人)	6室 8室 (補助職員 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		新学術創成研究科 融合科学共同専攻			22 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	全て大学全体での共 用分 購入・廃棄等のため (30)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	新学術創成研究科 融合科学共同専攻	1,928,640 [682,093] 1,891,674 [677,445] (1,928,640 [682,093]) -(1,891,674 [677,445])	36,120 [14,378] 36,060 [14,388] (36,120 [14,378]) -(36,060 [14,388])	8,007 [6,773] 8,399 [6,598] (8,007 [6,773]) -(8,399 [6,598])	8,154 8,096 (8,154) -(8,096)	8,063 8,608 (8,063) -(8,608)	230 129 (230) -(129)		
	計	1,928,640 [682,093] 1,891,674 [677,445] (1,928,640 [682,093]) -(1,891,674 [677,445])	36,120 [14,378] 36,060 [14,388] (36,120 [14,378]) -(36,060 [14,388])	8,007 [6,773] 8,399 [6,598] (8,007 [6,773]) -(8,399 [6,598])	8,154 8,096 (8,154) -(8,096)	8,063 8,608 (8,063) -(8,608)	230 129 (230) -(129)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 改修等のため (30)	
		19,793㎡ 20,510㎡		2,187 2,164		1,625,424 1,618,222			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 改修等のため (30)	
		6,295㎡ 5,871㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 2) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 30 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」

を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

(北陸先端科学技術大学院大学)

大学 学 校 名 称	北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
先端科学技術研究科 先端科学技術専攻	年	人	年次 人	人		倍			
博士前期課程	2	282	-	282	修士 (知識科学) 修士 (情報科学) 修士 (マテリアルサイエンス)	1.11	平成28年度	石川県能美市 旭台1-1	
博士後期課程	3	90	-	90	博士 (知識科学) 博士 (情報科学) 博士 (マテリアルサイエンス)	0.83	平成28年度	同上	
先端科学技術研究科 融合科学共同専攻									
修士課程	2	10	-	10	修士 (融合科学)	0.8	平成30年度	同上	
知識科学技術研究科 知識科学専攻									
博士前期課程	2	0	-	86	修士 (知識科学)	-	平成20年度	同上	
博士後期課程	3	0	-	56	博士 (知識科学)	-	平成20年度	同上	
情報科学技術研究科 情報科学専攻									
博士前期課程	2	0	-	126	修士 (情報科学)	-	平成20年度	同上	
博士後期課程	3	0	-	74	博士 (情報科学)	-	平成20年度	同上	
マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻									
博士前期課程	2	0	-	120	修士 (マテリアルサイエンス)	-	平成20年度	同上	
博士後期課程	3	0	-	70	博士 (マテリアルサイエンス)	-	平成20年度	同上	

平成28年より
学生募集停止

(金沢大学)

大 学 の 名 称	金沢大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
人間社会学域	年	人	年次 人	人		倍			
人文学類	4	145	—	580	学士 (文学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学 定員185→135
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	135	—	690	学士 (経済学)	0.99	平成20年度	金沢市角間町	
学校教育学類	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	90	—	330	学士 (地域創造 学)	1	平成20年度	金沢市角間町	
国際学類	4	85	—	295	学士 (国際学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	
理工学域									※理工学域の平均入学定員超過率 には学域共通編入学に係る数値を 含んでいない。
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工 学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	100	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	110	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	80	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	100	学士 (理学・工 学)	0.94	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	59	学士 (理学・工 学)	0.86	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入 学受入
機械工学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生 募集停止
電子情報学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生 募集停止
環境デザイン学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生 募集停止
自然システム学類	4	—	—	—	学士 (理学・工 学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生 募集停止
(学域共通編入学)			3年次 40	80					平成32年度より学域 共通編入学停止
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	0.99	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	—	210	学士 (薬学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	—	160	学士 (創薬科 学)		平成20年度	金沢市角間町	

保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1. 01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0. 98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0. 92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0. 81	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0. 84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
教育学研究科									
教育実践高度化専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より学生募集停止
人間社会環境研究科									
人文学専攻	2	23	—	46	修士 (文学・学術)	0. 82	平成24年度	金沢市角間町	
法学・政治学専攻	2	8	—	16	修士 (法学・政治学)	0. 25	平成24年度	金沢市角間町	
経済学専攻	2	6	—	14	修士 (経済学・経営学・学術)	0. 71	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→6
地域創造学専攻	2	14	—	22	修士 (地域創造学・学術)	1. 09	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→14
国際学専攻	2	10	—	18	修士 (国際学・学術)	1. 05	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→10
人間社会環境学専攻	3	12	—	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学)	1. 22	平成18年度	金沢市角間町	
自然科学研究科									
数物科学専攻	2	56	—	112	修士 (理学・学術)	1. 08	平成24年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	—	114	修士 (理学・工学・学術)	1. 14	平成24年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	2	90	—	180	修士 (工学・学術)	1. 14	平成24年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	2	67	—	134	修士 (工学・学術)	1. 20	平成24年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	2	40	—	80	修士 (工学・学術)	1. 03	平成24年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	2	67	—	134	修士 (理学・工学・学術)	1. 04	平成24年度	金沢市角間町	
数物科学専攻	3	15	—	45	博士 (理学・学術)	0. 75	平成16年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	3	14	—	42	博士 (理学・工学・学術)	0. 33	平成26年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	3	25	—	75	博士 (工学・学術)	0. 65	平成26年度	金沢市角間町	

電子情報科学専攻	3	18	—	54	博士 (工学・学術)	0.64	平成16年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	3	10	—	30	博士 (工学・学術)	1.23	平成26年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	3	21	—	63	博士 (理学・工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町	
システム創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止
物質科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止
環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止
医薬保健学総合研究科									
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.90	平成24年度	金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	—	384	博士 (医学・学術)	0.91	平成28年度	金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度	金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	—	76	修士 (創薬科学)	1.18	平成24年度	金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	—	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	平成24年度	金沢市角間町	
薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度	金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	—	140	修士 (保健学)	0.77	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	—	75	博士 (保健学)	1.00	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
先進予防医学研究科									
先進予防医学共同専攻	4	12	—	36	博士 (医学)	1.11	平成28年度	金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科									
融合科学共同専攻	2	14	—	14	修士 (融合科学)	0.92	平成30年度	金沢市角間町	
法務研究科									
法務専攻	3	15	—	45	法務博士 (専門職)	0.60	平成16年度	金沢市角間町	
教職実践研究科									
教職実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.06	平成28年度	金沢市角間町	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<先端科学技術研究科融合科学共同専攻(修士課程)>

<新学術創成研究科融合科学共同専攻(修士課程)>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	後藤（青木） 典子 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅰ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	高橋 智聡 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅱ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	松本 邦夫 ＜平成30年4月＞
		起業家への道 起業家の中核技術と戦略 実践的データ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅱ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	鈴木 健之 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅰ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	WONG WING CHUEN RICHARD ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	須釜 淳子 ＜平成30年4月＞
		実践的データ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） 日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	後藤（青木） 典子 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅰ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	高橋 智聡 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅱ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	松本 邦夫 ＜平成30年4月＞
		実践的データ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅱ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	鈴木 健之 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） がんの生命科学Ⅰ ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	WONG WING CHUEN RICHARD ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）
専	教授	須釜 淳子 ＜平成30年4月＞
		実践的データ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） インターンシップ（金沢） 日和見感染症とティッシュ・バイオビリティ・ケア ※ ゼミナール・演習Ⅰ（金沢） 融合科学研究論文Ⅰ（金沢） 融合科学課題研究（金沢） 融合科学博士研究計画調査（金沢）

専	教授	江 東林 ＜平成30年4月＞
		有機材料物性特論 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (JAIST) 異分野「超」体験実践Ⅰb (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅰ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅰ (JAIST) 融合科学課題研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
専	准教授	柴田 幹大 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学 ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	小川 数馬 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 創薬分子プローブ概論 ※ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	河合 望 ＜平成30年4月＞
		実践のデータ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 考古学と自然科学 ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	菅沼 直樹 ＜平成30年4月＞
		実践のデータ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	仁宮 一章 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) バイオリファイナリー工学特論Ⅰ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
兼任	教授	小谷 明 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) 創薬分子プローブ概論 ※

専	准教授	柴田 幹大 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学 ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	小川 数馬 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 創薬分子プローブ概論 ※ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	河合 望 ＜平成30年4月＞
		実践のデータ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 考古学と自然科学 文化資源学概論 ※ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	菅沼 直樹 ＜平成30年4月＞
		実践のデータ分析・統計概論 ※ 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) 知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
専	准教授	仁宮 一章 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) インターンシップ (金沢) バイオリファイナリー工学特論Ⅰ ゼミナール・演習Ⅰ (金沢) 融合科学研究論文Ⅰ (金沢) 融合科学課題研究 (金沢) 融合科学博士研究計画調査 (金沢)
兼任	教授	小谷 明 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa (金沢) 異分野「超」体験実践Ⅰb (金沢) 創薬分子プローブ概論 ※

兼任	教授	岡本 成史 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 日和見感染症とティッシュ・バイアビリティ・ケア ※
兼任	教授	藤井 純夫 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼任	教授	関 啓明 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ
兼任	教授	北山 哲士 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼任	教授	大島 正伸 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅰ ※
兼任	教授	善岡 克次 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅰ ※
兼任	教授	平尾 敦 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	向田 直史 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	須田 貴司 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	國嶋 崇隆 ＜平成30年4月＞
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	松尾 淳一 ＜平成30年4月＞
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	多久和 陽 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼任	教授	河崎 洋志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼任	教授	三枝 理博 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※

兼任	教授	岡本 成史 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 日和見感染症とティッシュ・バイアビリティ・ケア ※
兼任	教授	藤井 純夫 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼任	教授	関 啓明 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ
兼任	教授	北山 哲士 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼任	教授	大島 正伸 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅰ ※
兼任	教授	善岡 克次 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅰ ※
兼任	教授	平尾 敦 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	向田 直史 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	須田 貴司 ＜平成30年4月＞
		がんの生命科学Ⅱ ※
兼任	教授	國嶋 崇隆 ＜平成30年4月＞
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	松尾 淳一 ＜平成30年4月＞
		創薬分子プローブ概論 ※
兼任	教授	多久和 陽 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼任	教授	河崎 洋志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼任	教授	三枝 理博 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※

兼担	教授	高橋 憲司 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼担	教授	生越 友樹 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼担	教授	尾崎 紀之 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	教授	堀 修 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	教授	大井 章史 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	教授	原田 憲一 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	教授	山田 正仁 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	教授	中村 慎一 ＜平成30年4月＞
		文明学特論
兼担	教授	森 雅秀 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	新田 哲夫 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	高山 知明 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	上田 望 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	西村 聡 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	中村 誠一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	粕谷 雄一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※

兼担	教授	高橋 憲司 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼担	教授	生越 友樹 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼担	教授	尾崎 紀之 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	教授	堀 修 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	教授	大井 章史 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	教授	原田 憲一 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	教授	山田 正仁 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	教授	中村 慎一 ＜平成30年4月＞
		文明学特論 文化資源学概論 ※
兼担	教授	森 雅秀 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	
兼担	教授	
兼担	教授	
兼担	教授	中村 誠一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	粕谷 雄一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※

兼担	教授	江藤 望 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	大村 雅章 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	山根 智 ＜平成30年4月＞
		分散並列リアルタイムシステム構成論
兼担	教授	佐藤 賢二 ＜平成30年4月＞
		生命情報と先端バイオ
兼担	教授	三好 正人 ＜平成30年4月＞
		アレイ信号処理特論
兼担	教授	笠原 禎也 ＜平成30年4月＞
		通信工学特論
兼担	教授	浅川 毅 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	山岸 忠明 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼担	教授	長谷川 浩 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	千木 昌人 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	教授	高橋 光信 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	前多 肇 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	教授	前田 勝浩 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼担	教授	森本 章治 ＜平成30年4月＞
		起業家の中核技術と戦略 固体物性評価基礎論 ※

兼担	教授	江藤 望 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	大村 雅章 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	山根 智 ＜平成30年4月＞
		分散並列リアルタイムシステム構成論
兼担	教授	佐藤 賢二 ＜平成30年4月＞
		生命情報と先端バイオ
兼担	教授	三好 正人 ＜平成30年4月＞
		アレイ信号処理特論
兼担	教授	笠原 禎也 ＜平成30年4月＞
		通信工学特論
兼担	教授	浅川 毅 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	山岸 忠明 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 機能性高分子材料科学
兼担	教授	長谷川 浩 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	千木 昌人 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	教授	高橋 光信 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	教授	前多 肇 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	教授	前田 勝浩 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼担	教授	森本 章治 ＜平成30年4月＞
		起業家の中核技術と戦略 固体物性評価基礎論 ※

兼担	教授	猪熊 孝夫 ＜平成30年4月＞
		固体物性評価基礎論 ※
兼担	教授	北川 章夫 ＜平成30年4月＞
		起業家への道
兼担	教授	垣内 康孝 ＜平成30年4月＞
		研究者倫理
兼担	教授	吉田 武稔 ＜平成30年4月＞
		システム思考論
兼担	教授	神田 陽治 ＜平成30年4月＞
		人間カイノベーション論 創出カイノベーション論
兼担	教授	敷田 麻実 ＜平成30年4月＞
		社会科学方法論
兼担	教授	内平 直志 ＜平成30年4月＞
		イノベーション・マネジメント論
兼担	教授	永井 由佳里 ＜平成30年4月＞
		デザイン創造過程論
兼担	教授	宮田 一乗 ＜平成30年4月＞
		メディア創造論
兼担	教授	藤波 努 ＜平成30年4月＞
		認知科学
兼担	教授	赤木 正人 ＜平成30年4月＞
		データ分析のための情報統計学
兼担	教授	東条（東條） 敏 ＜平成30年4月＞
		形式言語とオートマトン

兼担	教授	猪熊 孝夫 ＜平成30年4月＞
		固体物性評価基礎論 ※
兼担	教授	北川 章夫 ＜平成30年4月＞
		起業家への道
兼担	教授	垣内 康孝 ＜平成30年4月＞
		研究者倫理
兼担	教授	大宮 寛久 ＜平成30年4月＞
		創業分子フロー概論 ※
兼担	教授	西山 正章 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	教授	西本 陽一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	教授	吉田 武稔 ＜平成30年4月＞
		システム思考論
兼担	教授	神田 陽治 ＜平成30年4月＞
		人間カイノベーション論 創出カイノベーション論
兼担	教授	敷田 麻実 ＜平成30年4月＞
		社会科学方法論
兼担	教授	内平 直志 ＜平成30年4月＞
		イノベーション・マネジメント論
兼担	教授	永井 由佳里 ＜平成30年4月＞
		デザイン創造過程論
兼担	教授	宮田 一乗 ＜平成30年4月＞
		メディア創造論
兼担	教授	藤波 努 ＜平成30年4月＞
		認知科学
兼担	教授	赤木 正人 ＜平成30年4月＞
		データ分析のための情報統計学
兼担	教授	東条（東條） 敏 ＜平成30年4月＞
		形式言語とオートマトン

兼任	教授	石原 哉 ＜平成30年4月＞
		数理論理学 計算論
兼任	教授	金子 峰雄 ＜平成30年4月＞
		システム最適化
兼任	教授	小川 瑞史 ＜平成30年4月＞
		情報代数 形式言語とオートマトン
兼任	教授	篠田 陽一 ＜平成30年4月＞
		オペレーティングシステム特論
兼任	教授	平石 邦彦 ＜平成30年4月＞
		システム最適化
兼任	教授	飯田 弘之 ＜平成30年4月＞
		ゲーム情報学特論
兼任	教授	上原 隆平 ＜平成30年4月＞
		計算論
兼任	教授	丁 洛榮 ＜平成30年4月＞
		離散信号処理特論
兼任	教授	井口 寧 ＜平成30年4月＞
		計算機アーキテクチャ特論
兼任	教授	緒方 和博 ＜平成30年4月＞
		ソフトウェア設計論
兼任	教授	鵜木 祐史 ＜平成30年4月＞
		統計的信号処理特論
兼任	教授	寺内 多智弘 ＜平成30年4月＞
		プログラミング基礎
兼任	教授	岩崎 秀夫 ＜平成30年4月＞
		量子力学特論
兼任	教授	富取 正彦 ＜平成30年4月＞
		応用電磁気学特論
兼任	教授	徳光 永輔 ＜平成30年4月＞
		デバイス物理特論

兼任	教授	石原 哉 ＜平成30年4月＞
		数理論理学 計算論
兼任	教授	金子 峰雄 ＜平成30年4月＞
		システム最適化
兼任	教授	小川 瑞史 ＜平成30年4月＞
		情報代数 形式言語とオートマトン
兼任	教授	篠田 陽一 ＜平成30年4月＞
		オペレーティングシステム特論
兼任	教授	平石 邦彦 ＜平成30年4月＞
		システム最適化
兼任	教授	飯田 弘之 ＜平成30年4月＞
		ゲーム情報学特論
兼任	教授	上原 隆平 ＜平成30年4月＞
		計算論
兼任	教授	丁 洛榮 ＜平成30年4月＞
		離散信号処理特論
兼任	教授	井口 寧 ＜平成30年4月＞
		計算機アーキテクチャ特論
兼任	教授	緒方 和博 ＜平成30年4月＞
		ソフトウェア設計論
兼任	教授	鵜木 祐史 ＜平成30年4月＞
		統計的信号処理特論
兼任	教授	岩崎 秀夫 ＜平成30年4月＞
		量子力学特論
兼任	教授	富取 正彦 ＜平成30年4月＞
		応用電磁気学特論
兼任	教授	徳光 永輔 ＜平成30年4月＞
		デバイス物理特論

兼担	教授	高木 昌宏 ＜平成30年4月＞
		生物機能概論
兼担	教授	水田 博 ＜平成30年4月＞
		応用物性数学特論
兼担	教授	村田 英幸 ＜平成30年4月＞
		量子力学特論
兼担	教授	海老谷 幸喜 ＜平成30年4月＞
		触媒化学特論
兼担	教授	高村 禪 ＜平成30年4月＞
		生体材料分析特論
兼担	教授	藤本 健造 ＜平成30年4月＞
		生物有機化学特論
兼担	教授	芳坂 貴弘 ＜平成30年4月＞
		生物有機化学特論
兼担	教授	前之園 信也 ＜平成30年4月＞
		無機材料化学特論
兼担	教授	金子 達雄 ＜平成30年4月＞
		高分子化学特論Ⅰ
兼担	教授	松見 紀佳 ＜平成30年4月＞
		有機分子化学特論
兼担	特任教授	加納 重義 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論

兼担	教授	高木 昌宏 ＜平成30年4月＞
		生物機能概論
兼担	教授	水田 博 ＜平成30年4月＞
		応用物性数学特論
兼担	教授	村田 英幸 ＜平成30年4月＞
		量子力学特論
兼任	非常勤講師	海老谷 幸喜 ＜平成30年4月＞
		触媒化学特論
兼担	教授	高村 禪 ＜平成30年4月＞
		生体材料分析特論
兼担	教授	藤本 健造 ＜平成30年4月＞
		生物有機化学特論
兼担	教授	芳坂 貴弘 ＜平成30年4月＞
		生物有機化学特論
兼担	教授	前之園 信也 ＜平成30年4月＞
		無機材料化学特論
兼担	教授	金子 達雄 ＜平成30年4月＞
		高分子化学特論Ⅰ
専	教授	松見 紀佳 ＜平成30年4月＞
		有機分子化学特論 有機材料物性特論 異分野「超」体験セッションⅠ 異分野「超」体験実践Ⅰa (JAIST) 異分野「超」体験実践Ⅰb (JAIST) インターンシップ (JAIST) ゼミナール・演習Ⅰ (JAIST) 融合科学研究論文Ⅰ (JAIST) 融合科学課題研究 (JAIST) 融合科学博士研究計画調査 (JAIST)
兼任	教授	水谷 五郎 ＜平成30年4月＞
		材料物理概論
兼任	教授	党 建武 ＜平成30年4月＞
		情報解析学特論

兼担	准教授	田岡 東 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼担	准教授	西村 達也 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼担	准教授	鳥羽 陽 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	稲垣 冬彦 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	北村 正典 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	後藤 享子 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	吉村 智之 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	杉本 直俊 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼担	准教授	古寺 哲幸 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学
兼担	准教授	栗原 貴之 ＜平成30年4月＞
		太陽電池工学特論Ⅰ エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	辛川 誠 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 太陽電池工学特論Ⅰ
兼担	准教授	井改 知幸 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼担	准教授	服部 剛志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	准教授	奥田 洋明 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※

兼担	准教授	田岡 東 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）
兼担	准教授	西村 達也 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼担	准教授	鳥羽 陽 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	北村 正典 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	後藤 享子 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	吉村 智之 ＜平成30年4月＞
		創薬分子ブローブ概論 ※
兼担	准教授	杉本 直俊 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼担	教授	古寺 哲幸 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学
兼担	准教授	辛川 誠 ＜平成30年4月＞
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢） 異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢） 太陽電池工学特論Ⅰ
兼担	准教授	井改 知幸 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論 マテリアルプログラム序論 高分子材料合成化学
兼担	准教授	服部 剛志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	准教授	奥田 洋明 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※

兼担	准教授	徳田 規夫 ＜平成30年4月＞
		表面・界面工学特論Ⅰ
兼担	准教授	矢口 直道 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	准教授	高田 良宏 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	准教授	南保 英孝 ＜平成30年4月＞
		データマイニング論
兼担	准教授	今村 幸祐 ＜平成30年4月＞
		映像情報処理学
兼担	准教授	後藤 由貴 ＜平成30年4月＞
		衛星測位工学
兼担	准教授	太田 明雄 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	山口 孝浩 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	牧 輝弥 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	浅川 雅 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	古山 溪行 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	准教授	本田 光典 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	准教授	川江 健 ＜平成30年4月＞
		デバイスプロセス工学
兼担	准教授	目片 強司 ＜平成30年4月＞
		起業家の中核技術と戦略

兼担	准教授	徳田 規夫 ＜平成30年4月＞
		表面・界面工学特論Ⅰ
兼担	准教授	矢口 直道 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	准教授	高田 良宏 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	准教授	南保 英孝 ＜平成30年4月＞
		データマイニング論
兼担	准教授	今村 幸祐 ＜平成30年4月＞
		映像情報処理学
兼担	准教授	後藤 由貴 ＜平成30年4月＞
		衛星測位工学
兼担	准教授	太田 明雄 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	山口 孝浩 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	牧 輝弥 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	浅川 雅 ＜平成30年4月＞
		エネルギー・環境プログラム序論
兼担	准教授	古山 溪行 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	准教授	本田 光典 ＜平成30年4月＞
		マテリアルプログラム序論
兼担	准教授	川江 健 ＜平成30年4月＞
		デバイスプロセス工学
兼担	准教授	目片 強司 ＜平成30年4月＞
		起業家の中核技術と戦略
兼担	准教授	藤竹 正晴 ＜平成30年4月＞
		生物・分子物理学

兼任	准教授	水本 正晴 ＜平成30年4月＞ 実験哲学概論
兼任	准教授	金井 秀明 ＜平成30年4月＞ 知識メディア方法論
兼任	准教授	由井 隆也 ＜平成30年4月＞ 知識メディア方法論
兼任	准教授	DAM, Hieu Chi ＜平成30年4月＞ データ分析学基礎 データ分析学 物質計算科学特論
兼任	准教授	白肌 邦生 ＜平成30年4月＞ サービス経営論
兼任	准教授	吉高 淳夫 ＜平成30年4月＞ 画像情報処理特論
兼任	准教授	白井 清昭 ＜平成30年4月＞ 自然言語処理論 I
兼任	准教授	田中 清史 ＜平成30年4月＞ 計算機アーキテクチャ特論
兼任	准教授	田中(杵渕) 宏和 ＜平成30年4月＞ 統計的信号処理特論
兼任	准教授	前園 涼 ＜平成30年4月＞ ダイナミクスのモデリング
兼任	准教授	浅野 文彦 ＜平成30年4月＞ 離散信号処理特論
兼任	准教授	池田 心 ＜平成30年4月＞ アルゴリズムとデータ構造 ゲーム情報学特論

兼任	准教授	佐藤 保則 ＜平成30年4月＞ ヒューマンボディー：疾患 ※
兼任	准教授	菅原 裕文 ＜平成30年4月＞ 文化資源学概論 ※
兼任	准教授	水本 正晴 ＜平成30年4月＞ 実験哲学概論
兼任	准教授	金井 秀明 ＜平成30年4月＞ 知識メディア方法論
兼任	准教授	由井 隆也 ＜平成30年4月＞ 知識メディア方法論
兼任	准教授	DAM, Hieu Chi ＜平成30年4月＞ データ分析学基礎 データ分析学 物質計算科学特論
兼任	准教授	白肌 邦生 ＜平成30年4月＞ サービス経営論
兼任	准教授	吉高 淳夫 ＜平成30年4月＞ 画像情報処理特論
兼任	准教授	白井 清昭 ＜平成30年4月＞ 自然言語処理論 I
兼任	准教授	田中 清史 ＜平成30年4月＞ 計算機アーキテクチャ特論
兼任	准教授	田中(杵渕) 宏和 ＜平成30年4月＞ 統計的信号処理特論
兼任	教授	前園 涼 ＜平成30年4月＞ ダイナミクスのモデリング
兼任	准教授	浅野 文彦 ＜平成30年4月＞ 離散信号処理特論
兼任	准教授	池田 心 ＜平成30年4月＞ アルゴリズムとデータ構造 ゲーム情報学特論

兼担	准教授	NGUYEN, Le Minh ＜平成30年4月＞
		自然言語処理論Ⅰ
兼担	准教授	篠原 健一 ＜平成30年4月＞
		機器分析化学特論
兼担	准教授	高村 由起子 ＜平成30年4月＞
		固体物理学特論Ⅰ
兼担	准教授	赤堀 誠志 ＜平成30年4月＞
		固体物理学特論Ⅱ
兼担	准教授	筒井 秀和 ＜平成30年4月＞
		生体分子機能特論
兼担	准教授	松村 和明 ＜平成30年4月＞
		材料化学概論
兼担	准教授	長尾 祐樹 ＜平成30年4月＞
		有機材料物性特論
兼担	准教授	濱田 勉 ＜平成30年4月＞
		生物物理化学特論
兼担	准教授	谷池 俊明 ＜平成30年4月＞
		材料化学概論
兼担	講師	仲田 浩規 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	前島 隆司 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※

兼担	准教授	NGUYEN, Le Minh ＜平成30年4月＞
		自然言語処理論Ⅰ
兼担	准教授	篠原 健一 ＜平成30年4月＞
		機器分析化学特論
兼担	准教授	高村 由起子 ＜平成30年4月＞
		固体物理学特論Ⅰ
兼担	准教授	赤堀 誠志 ＜平成30年4月＞
		固体物理学特論Ⅱ
兼担	准教授	筒井 秀和 ＜平成30年4月＞
		生体分子機能特論
兼担	准教授	松村 和明 ＜平成30年4月＞
		材料化学概論
兼担	准教授	長尾 祐樹 ＜平成30年4月＞
		有機材料物性特論
兼担	准教授	濱田 勉 ＜平成30年4月＞
		生物物理化学特論
兼担	准教授	谷池 俊明 ＜平成30年4月＞
		材料化学概論 物質計算科学特論
兼担	准教授	廣川 直 ＜平成30年4月＞
		プログラミング基礎
兼担	准教授	KIM, Eunyoung ＜平成30年4月＞
		社会科学方法論
兼担	准教授	本郷 研太 ＜平成30年4月＞
		ダイナミクスのモデリング
兼担	特任准教授	BEURAN, Razvan Florin ＜平成30年4月＞
		オペレーティングシステム特論
兼担	講師	仲田 浩規 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	准教授	前島 隆司 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※

兼担	助教	吉岡 和晃 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼担	助教	安藝 翔 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼担	助教	堀 紀代美 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	寶田 美佳 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	石井 宏史 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	尾山 武 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	助教	中村 律子 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	助教	坂井 健二 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	助教	谷川 竜一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	助教	日高 昇平 ＜平成30年4月＞
		認知科学概論
兼担	助教	田中 孝治 ＜平成30年4月＞
		認知科学概論
兼担	助教	横山 啓太 ＜平成30年4月＞
		数理論理学
兼担	助教	下川 直史 ＜平成30年4月＞
		生物機能概論

兼担	講師	吉岡 和晃 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼担	助教	安藝 翔 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：機能 ※
兼担	助教	堀 紀代美 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	寶田 美佳 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	石井 宏史 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：構造 ※
兼担	助教	尾山 武 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	助教	中村 律子 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	助教	坂井 健二 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンボディー：疾患 ※
兼担	助教	谷川 竜一 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	助教	角野 歩 ＜平成30年4月＞
		生体分子ダイナミクス ※ 生物・分子物理学
兼担	助教	神谷 嘉美 ＜平成30年4月＞
		文化資源学概論 ※
兼担	准教授	日高 昇平 ＜平成30年4月＞
		認知科学概論
兼担	講師	田中 孝治 ＜平成30年4月＞
		認知科学概論
兼担	講師	横山 啓太 ＜平成30年4月＞
		数理論理学
兼担	講師	下川 直史 ＜平成30年4月＞
		生物機能概論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

＜先端科学技術研究科融合科学共同専攻（修士課程）＞

＜新学術創成研究科融合科学共同専攻（修士課程）＞

【平成30年度】

・担当教員の見直しにより、専任教員の松本邦夫、飯山宏一、河合望の担当授業科目を変更。
・専任教員の江東林辞任により、兼任教員であった松見紀佳が専任教員に就任し、担当授業科目を追加した。平成30年1月教員審査済み。
・担当教員の見直しにより、兼任教員の中村慎一、井改知幸、谷池俊明の担当授業科目を追加。
・担当教員の見直しにより、兼任教員の薪田哲夫、高山知明、上田望、西村聡、寺内多智弘、稲垣冬彦が辞任し、大宮寛久、西本陽一、菅原裕文、廣川直、神谷嘉美が就任。
・担当教員の見直しにより、兼任教員に、西山正章、水谷五郎、党建武、佐藤保則、KIM, Eunyong、本郷研太、BEURAN、Razvan Florin、角野歩、KHUAT, Thi Thu Hien、井手勇介、坂村圭、謝浩然、鳥居拓馬、宮田全展、根元多佳子が就任。
・海老谷幸喜の退職のため、兼任教員から兼任教員（非常勤講師）に変更。
・兼任教員の加納重義が辞任。
・兼任教員の秦原貴之が退職。
・昇任のため、兼任教員の古寺哲幸、前園涼の職名を教授に変更。
・昇任のため、兼任教員の前島隆司、日高昇平の職名を准教授に変更。
・昇任のため、兼任教員の吉岡和晃、田中孝治、横山啓太、下川直史の職名を講師に変更。
・兼任教員の藤竹正晴の記載漏れを修正。
・兼任教員としてH0、Bao Tu、前川正実が就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
北陸先端 科学技術 大学院大 学	1 名	1 名	1 名
金沢大学	3 名	2 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員数

大学名	設 置 時 の 計 画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
北陸先端 科学技術 大学院大 学	7	0	0	0	7	7	0	0	0	7	7	0	0	0	7
	(7)	(0)	(0)	(0)	(7)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
	7	0	59			7	0	72			7	0	59		
	(7)	(0)	(72)								[0]	[0]	[0]		
金沢大学	14	5	0	0	19	14	5	0	0	19	14	5	0	0	19
	(14)	(5)	(0)	(0)	(19)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
	19	0	0			19	0	0			19	0	0		
	(19)	(0)	(0)								[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
北陸先端 科学技術 大学院大 学	65 歳	0 名	0 名
金沢大学	65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{26} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2)－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
北陸先端 科学技術 大学院大 学	1	教授	江 東 林	選択	有機材料物性特論	①	退職のため就任辞退（30）			
				必修	異分野「超」体験 セッションⅠ	①				
				選択	異分野「超」体験 実践Ⅰa（JAIST）	①				
				選択	異分野「超」体験 実践Ⅰb（JAIST）	①				
				選択	インターンシップ （JAIST）	①				
				選択	ゼミナール・演習 Ⅰ（JAIST）	①				
				選択	融合科学研究論文 Ⅰ（JAIST）	①				
				選択	融合科学課題研究 （JAIST）	①				
				選択	融合科学博士研究 計画調査 （JAIST）	①				
金沢大学	1	教授	該当なし							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
北陸先端 科学技術 大学院大 学	1		該当なし				
金沢大学	1		該当なし				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修	1	科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	8	科目	選択	8 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9	科目	計	9 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{26} = 3.84 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
北陸先端 科学技術 大学院大 学	1		該当なし											
金沢大学	1		該当なし											
	合計					後任補充状況の集計								
	辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
	0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

北陸先端科学技術大学院大学：就任を辞退した専任教員の授業科目を担当する教員は、当該授業科目を担当するにあたり十分な業績を保持しており、授業科目の実施に支障はない。学生には、履修案内 (冊子及びWeb)、時間割 (Web) 等により周知している。

金沢大学：該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

[平成30年度設置]

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年6月)	・目的とする「融合科学」の教育、研究指導及び評価が実施できるよう、両大学が十分な協力・連携体制を構築の上、実施することが望ましい。	留意事項 ・平成29年3月29日付で、両大学の学長名で「金沢大学及び北陸先端科学技術大学院大学による『融合科学共同専攻』に関する連携協定書」を締結した。 その下で、大学院設置基準第31条第2項に定める「構成大学間の協議の場」として「金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻連絡協議会」を設置し、目的とする「融合科学」の教育、研究指導及び評価を実施するための十分な協力・連携体制を構築した。特に、学生の授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導を行うため、学生1人につき両大学から1名ずつの指導教員（主任・副主任）を融合科学の観点を加味して配置することし、その配置については両大学の連絡協議会において審議・承認する体制をとっている。 加えて、融合科学共同専攻の教育に資する分野融合型研究を推進するため「金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合研究推進会議」を置き、研究交流会、ワークショップ、シンポジウム等の企画に関する事項、分野融合型研究の実施に係る経費等の支援等に係る構成大学間の連絡調整を行うこととした。 また、特に構成大学間の調整を必要とする事務の実施組織として「金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻コーディネートセンター」を置き、共同開講科目の実施及び研究指導体制の構築にかかる調整事務、学生の授業科目（インターンシップ及び研究留学を含む。）に関する事務的な指導及び相談対応の業務を行っている。 (30)	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<北陸先端科学技術大学院大学>

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科 〇) 〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室を それぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊 増書した。

<金沢大学>

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
講義室 インキュベーション施設3室 自習室 各研究指導教員の研究室の傍には、学生が自習できる自習室を備えている。	講義を円滑に行うようにするため、講義室を専用3室ではなく、共用36室を使用することとした。 各研究指導教員には教員室及び研究室を備えるとともに、研究室の傍には共用の学生が自習できるスペースを備えている。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学融合科学共同専攻連絡協議会

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

未開催

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生の身分及び学生支援方針に関する事項
- (2) 授業科目の編成, 実施 (教育手法を含む。) 及び担当教員の配置に関する事項
- (3) 専任教員, 研究指導教員及び研究指導補助教員の配置に関する事項
- (4) 入学者選抜の方針に関する事項
- (5) 成績評価の方針に関する事項
- (6) 学位審査, 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (7) 戦略的な学生募集活動, 広報及び情報発信に関する事項
- (8) 共同教育課程に係る教育研究活動等の状況及び自己点検・評価に関する事項
- (9) 共同教育課程に係るファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項
- (10) その他連絡協議会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・両大学共同で融合科学共同専攻を運営するために必要なFD活動を実施予定

b 実施方法

- ・実施前のため未定

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

- ・実施前のため未定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・実施前のため未定

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・両大学それぞれで実施

b 教員や学生への公開状況, 方法等

- ・両大学それぞれで実施

<北陸先端科学技術大学院大学>

<北陸先端科学技術大学院大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育研究専門委員会（規則は別紙のとおり）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎月1回（8月を除く）開催（委員のほとんどが毎回参加）

c 委員会の審議事項等

別紙規則のとおり

② 実施状況

a 実施内容

- ・「講義におけるアクティブラーニングを含めた教授方法について」をテーマとしたグループワーク
- ・「博士後期課程学生の民間企業就職に向けた教育活動について」をテーマとしたグループワーク
- ・「講義及び研究室内教育における人間力・創出力強化のための方策について」をテーマとしたグループワーク

b 実施方法

- ・グループワーク

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学FD

- ・講義におけるアクティブラーニングを含めた教授方法について（平成29年7月28日, 参加教員62名）
- ・博士後期課程学生の民間企業就職に向けた教育活動について（平成29年9月15日, 参加教員44名）
- ・講義及び研究室内教育における人間力・創出力強化のための方策について（平成29年12月25日, 参加教員33名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学の課題等について議論し、教員間で情報共有することによって、授業改善につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（授業ごとに、各期の最終講義時に実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックする。

また、各期ごとに全体の集計結果をホームページで公開している。

<金沢大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

新学術創成研究科会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年4月3日 第1回研究科会議開催（委員19名中17名出席）

平成30年4月26日 第2回研究科会議開催（書面付議）

c 委員会の審議事項等

- (1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 規程その他の教育に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育に係る予算の執行に関する事項
- (4) 教育課程の編成に関する事項
- (5) 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項
- (6) 学生の入学又は課程の修了その他学生の在籍に関する事項及び学位の授与に関する事項
- (7) 教育の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (8) 授業の内容及び方法の改善を図るための研修及び研究の実施に関する事項
- (9) 研究科長の候補者の選考に関する事項
- (10) その他当該研究科に関する重要事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学のFD講演会と授業実践報告会を実施予定

b 実施方法

- ・全学のFD講演会と授業実践報告会については、講演会形式による。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・現時点では実施前のため該当なし

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・現時点では実施前のため該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・講義終了時に授業評価アンケートを行う。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・担当の教員に公開する

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<北陸先端科学技術大学院大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に沿った教育研究体制を整備し、平成30年4月の開設及びそれ以降の活動が順調に行われている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 未定

b 公表方法

・ 未定

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

<金沢大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画どおりに達成している。FD活動や授業評価アンケートなどをもとに、カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 未定（検討中）

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成33年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<北陸先端科学技術大学院大学>

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表（予定）の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年8月末日)

<金沢大学>

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表（予定）の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年7月（予定）)

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

○国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学教育研究専門委員会規則
(平成16年4月1日北院大規則第82号)

改正	平成17年4月1日施行	平成17年7月19日施行
	平成18年4月1日施行	平成18年7月20日施行
	平成20年4月2日施行	平成20年4月15日施行
	平成22年4月1日施行	平成23年4月19日施行
	平成24年1月18日施行	平成24年4月1日施行
	平成27年7月1日施行	平成28年4月1日施行

(設置)

第1条 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学の教育研究評議会に、教育研究専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置く。

(組織)

第2条 専門委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する理事
- (2) 副学長
- (3) 特別学長補佐
- (4) 学系長
- (5) 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学教育研究評議会規則第2条第1項第6号及び第7号の評議員
- (6) 委員長が指名する副理事

(審議事項)

第3条 専門委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 学位論文の審査手続に関すること。
- (2) 入学料、授業料及び寄宿料の免除並びに奨学金に関すること。
- (3) 学生募集に関すること。
- (4) 教育の連携及び社会貢献に関すること。
- (5) 学生生活の支援及び指導に関すること。
- (6) 学生の進路、就職及びキャリア形成の支援に関すること。
- (7) 国費外国人留学生の推薦及び受入れに関すること。
- (8) その他教育研究に関すること。

(検討事項)

第4条 専門委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 寄附講座の設置に関すること。
- (2) 国際シンポジウムの開催計画に関すること。
- (3) 大学セミナーその他研究発表の実施に関すること。
- (4) 公開講座に関すること。
- (5) 競争的研究資金の獲得への対策に関すること。
- (6) 地域貢献事業に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか教員等の研究に関すること。
- (8) 教育課程の編成の方針に関すること。
- (9) 教育内容及び教育方法の改善に関すること。
- (10) 学生の表彰に関すること。
- (11) 非常勤講師に関すること。

(運営)

第5条 専門委員会に委員長を置き、第2条第1号の委員のうちから学長が指名する者をもって充てる。

2 委員長は、専門委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者の出席)

第6条 専門委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 専門委員会の事務は、教育支援課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、専門委員会の運営に関し必要な事項は、教育研究評議会の議を経て学長が定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年4月1日施行)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月19日施行)

この規則は、平成17年7月19日から施行する。

附 則(平成18年4月1日施行)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年7月20日施行)

この規則は、平成18年7月20日から施行する。

附 則(平成20年4月2日施行)

この規則は、平成20年4月2日から施行する。

附 則(平成20年4月15日施行)

この規則は、平成20年4月15日から施行する。

附 則(平成22年4月1日施行)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年4月19日施行)

この規則は、平成23年4月19日から施行する。

附 則(平成24年1月18日施行)

この規則は、平成24年1月18日から施行する。

附 則(平成24年4月1日施行)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成27年7月1日施行)

この規則は、平成27年7月1日から施行する。

附 則(平成28年4月1日施行)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。